

学校便り 8月

令和7年7月18日
呉市立川尻小学校

いよいよ明日から長い夏休みが始まります。普段ではできないことをするチャンスでもあります。計画的に学習や生活をするようにしましょう。

一学期に行った運動会や参観日など、さまざまな学校行事に多くの保護者の皆さまにお越しいただき、本当にありがとうございました。おうちの方に見守っていただけることで、児童はいつも以上にやる気を出し、笑顔で頑張る姿をたくさん見せてくれました。こうして一緒に子供達を支えてくださることに、心から感謝しています。二学期も、子供達が元気に成長していけるよう、学校と家庭で力を合わせていけたらと思います。これからも、どうぞよろしくお願いたします。

さて、本日行った終業式の中で、児童に「夏休みに気をつけること」2点と「頑張ってもらいたいこと」2点について話をしました。気をつけることは「熱中症に気をつけること」「交通事故に遭わないこと」。頑張ってもらいたいことは「お家のお手伝いをする」「計画的に学習に取り組むこと」です。この4点を守り、楽しく有意義な夏休みにするため、ご家庭でもお子さんと話してみてください。

川尻小が紹介されました

「ひろしま県民だより 夏号」に昨年度、光明寺川砂防堰堤前で行われた砂防出前講座の様子が、「市政だより くれ8月号」にジビエ食材を使用した給食について紹介されました。

2025 SUMMER 夏号
今月号は 2025.05.17 発行 160.00円

私たちが未来を守る、
防災減災

被爆・終戦80年
平和を未来につなぐプロジェクト進行中

いま知って、できることから
はじめよう防災・減災

2,709,938人 10年間の平均 22,316人減少
1,315,207人 1,394,731人

広島県ではさまざまなメディアで
役立つ情報を発信しています。

広島県公式 LINE
広島県公式 Facebook
広島県公式 TikTok
広島県公式 X
広島県公式 Instagram



～命を無駄にしない～

ジビエで地域を元気に！

有害鳥獣対策におけるジビエ(野生鳥獣の肉)の取り組みを、呉地区連友会 会長、呉市有害鳥獣捕獲課 課長の岡田さんに聞きました。

私は昔鳥獣を餌として、有害鳥獣対策の一環として、捕獲から解体処理、販売までを行っていました。また、鳥獣などによって捕獲された有害鳥獣の受け入れを行っていたのですが、近年その数が増えており、狩猟による捕獲数を上回るようになり、大切な有害鳥獣はいつまでも、大切な畜産品として、ジビエの消費を増やすことが求められます。現在は人手不足で高麗に供給が追いついていませんが、多くの人に有害鳥獣の肉は、安心を持ってもらえることで、呉のジビエを盛り上げ、くれる人が増えたらうれしいですね。

また、川尻小・中学校や安浦中学校などでは、学校給食にジビエを取り入れています。おもしろい食生活を送る子どもたちの姿を見ると、呉のジビエに未来を感じます。そのほかにも、呉市のふるさと納税販売先を行ってあり、非牟利販売数は年間の約7倍、価格は約10倍、高く、ジビエを提供する飲食店も増えてきています。みんなで有害鳥獣対策を地域の元気に変えていきたいと思います。

▲「地元のもの食べてほしい、新しい食べ物に出会える機会を」と、栄養教諭が考案したジビエメニューに笑顔の子どもたち。川尻小!

ジビエが強く
愛護も愛着です！



呉地区連友会 会長
呉市有害鳥獣捕獲課 課長
岡田 芳幸 さん

〈夏期休業中の一斉閉庁のお知らせ〉

呉市教育委員会の指導により、次の期間学校を閉庁します。

8月12日(火)、13(水)、14(木)

緊急の連絡がある場合は、呉市教育委員会学校教育課にお願いします。